

【そなエリア東京×東京ガス】

夏休み！体験型防災イベント～そなえるチカラを手に入れよう～

東京ガスは、7月20日(土)、21日(日)の2日間、東京臨海広域防災公園「そなエリア東京」にて、『夏休み！体験型防災イベント～そなえるチカラを手に入れよう～』を開催します。



そなエリア東京 × エネルギー・フロンティア TOKYO GAS
防災体験学習施設

～そなえるチカラを手に入れよう～

夏休み! 体験型防災イベント

もし今、災害が起きたら…わたしたちの街や暮らしはどうなってしまうのだろう。
“もしも”にそなえるプログラムを体験できる、盛りだくさんの2日間です。

参加費・入館 無料

2019年7月20日(土)・21日(日) 10:00～16:00
会場：東京臨海広域防災公園 そなエリア東京

地震や風水害をはじめ、いつどのような災害が起こってもおかしくない環境の中で私たちは暮らしています。これらの自然災害による被害を小さくするためには、自らの生命を自らが守る「自助」、自分たちのまちを自分たちで守る「共助」の取り組みが重要です。

今回のイベントは、防災体験学習施設である「そなエリア東京」を最大限に生かしたさまざまなプログラムを体験しながら、災害時に自力で生き抜くための実践的で幅広い知識と技を身につけていきます。

みんなで防災について考えてみませんか？夏休みの自由研究にも役立ちそう！ご来場をお待ちしています！

【開催概要】

- ・日程：2019年7月20日(土)・21日(日)
- ・時間：10:00～16:00
- ・入館料・参加費：無料
- ・申込方法：お申し込み不要(一部整理券、抽選券制)
- ・会場：東京臨海広域防災公園「そなエリア東京」(東京都江東区有明3-8-35)
- ・主催：東京ガス株式会社
- ・共催：そなエリア東京
- ・後援：江東区・江東区教育委員会
- ・協力：国土交通省・深川消防署

イベント内容の一部をご紹介します(画像はすべてイメージです)

■降雨体験車

近年発生件数が増えているゲリラ豪雨や大きな被害をもたらす 1 時間 300 ミリの台風級の暴風雨を体験できます。豪雨の恐ろしさを実際に体験して、雨による災害、被害に対する理解を深めて防災に役立てましょう。



■VR 防災体験車(VR BOSAI) ※7 月 21 日(日)のみ

普段の防災訓練では体験できない揺れや振動、においなどの臨場感ある演出で、地震や火事などの災害をバーチャルリアリティで体験できます。



■はしご車搭乗体験 ※7 月 20 日(土)のみ

消火活動で活躍する、はしご車の搭乗体験ができます。



■ポンプ車と記念写真

子供用防火服体験を着て、記念撮影ができます。

■かまどベンチで「日々もしごはん」

平常時はベンチとして、災害時はかまどとして炊き出しが可能となる「かまどベンチ」。もしもの時でも温かい食事ができるポリ袋を使った「お湯ポチャ調理」を、かまどベンチで体験しながら、災害時でも身近にある食材を使って、おいしく食べるヒントを学びます。講師は、今泉マユ子さん(管理栄養士、防災士、災害食専門員)。
※雨天の場合はメニューが変更になります。



■防災セミナー「災害後の生活を再現するソナエ」 ※7 月 20 日(土)のみ

災害が発生して、もし家が壊れたら？収入がなくなったら？子どもたちの学費はどうすれば？実際にどのような問題が起きるか、また普段の生活を取り戻すために、どのような法律の支援があるかを解説します。講師は、岡本正弁護士(銀座パートナーズ法律事務所弁護士、岩手大学地域防災研究センター客員教授)。



■ちびっこ防災体験

- (1) 水消火器体験
- (2) 毛布でタンカ
- (3) ジャッキアップゲーム

■東京ガスの防災プログラム

- (1) 身近な材料でかまど作り
- (2) 黄色いガス管のひみつ～PE 管で万華鏡づくり～
- (3) 災害時のトイレをそなえよう！
- (4) 東京ガスの地震防災対策

